

お詫びと訂正

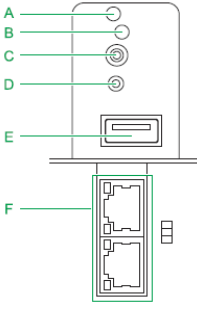
このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000/RS440[2014年6月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、標準 LAN ボードの MAC アドレスを確認する方法を本書の巻末に記載しております。ご参照いただきますようお願い申し上げます。

■ユーザーズガイド ～導入編～

- ・ 「2 システム装置の各部の名称」「2.4 リアコネクボード」(P.25)

	
誤	<p>B <u>UID (ユニット ID) スイッチ</u> システム装置前面および背面の UID ランプを点灯/消灯させるときに押します。</p> <p>C <u>UID (ユニット ID) ランプ (青)</u> UID ランプは複数のシステム装置の中から特定の装置を識別したいときなど、目印として点灯させます。システム動作には影響しません。</p>
正	<p>B <u>UID (ユニット ID) ランプ (青)</u> UID ランプは複数のシステム装置の中から特定の装置を識別したいときなど、目印として点灯させます。システム動作には影響しません。</p> <p>C <u>UID (ユニット ID) スイッチ</u> システム装置前面および背面の UID ランプを点灯/消灯させるときに押します。</p> <p>※逆の説明になっていたスイッチ/ランプを修正</p>

■ ユーザーズガイド ～BIOS 編～

- 「1 システム BIOS」「1.5 システム BIOS 使用上の注意」「1.5.2 システム装置導入時および運用時の注意」
「(2) メモリー縮退が発生した場合」(P.11)

誤
<p>メモリー-RAS 機能である Independent + Rank Sparing 機能、Independent + Mirroring 機能、Lock Step + Rank Sparing 機能および Lock Step + Mirroring 機能使用時にメモリー縮退が発生し、機能を使用するためのメモリー構成が維持できなくなった状態にて再起動した場合、「Memory_RAS Mode」の設定値が工場出荷時設定値の「Lock Step」に設定されます。 再度機能を使用する場合は、メモリーボードを交換したあとにあらためて設定値を変更してください。なお、メモリー縮退発生時に再起動せず電源を切り、メモリーボードを交換したあとに起動した場合、設定値の変更はされないため、そのまま機能を使用できます。</p>
正
<p>メモリー-RAS 機能である Independent + Mirroring 機能および Lock Step + Mirroring 機能使用時にメモリー縮退が発生し、機能を使用するためのメモリー構成が維持できなくなった状態にて再起動した場合、「Memory_RAS Mode」の設定値が Independent + Mirroring 機能は「Independent」、Lock Step + Mirroring 機能は「Lock Step」に設定されます。 再度機能を使用する場合は、メモリーボードを交換したあとにあらためて設定値を変更してください。</p>

- 「付録 A システム BIOS のセットアップメニュー一覧」「A.1 セットアップメニューの設定項目」
「A.1.6 Save & Exit: 終了メニュー」(P.98)

誤												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>設定値／表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示</td> <td>(設定項目は下欄のとおり)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・・・</td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>セットアップデータをデフォルト値に戻す</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 セットアップデータを変更しないまま選択すると、システム装置は再起動せずそのままブートします。 *2 次の項目については設定の変更を行いません。 System.Date./System.Time./Quiet.Boot./Administrator.Password./User.Password</p>	設定項目	設定内容	設定値／表示	A	セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示	(設定項目は下欄のとおり)	・	・・・	・・・	F	セットアップデータをデフォルト値に戻す	—
設定項目	設定内容	設定値／表示										
A	セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示	(設定項目は下欄のとおり)										
・	・・・	・・・										
F	セットアップデータをデフォルト値に戻す	—										
正												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>設定内容</th> <th>設定値／表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示</td> <td>(設定項目は下欄のとおり)</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・・・</td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>セットアップデータをデフォルト値に戻す</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 セットアップデータを変更しないまま選択すると、システム装置は再起動せずそのままブートします。 *2 次の項目については設定の変更を行いません。 .:System.Date./System.Time./Administrator.Password./User.Password .:「(8) iSCSI Configuration」: iSCSI 設定サブメニュー」P.89の設定値</p> <p>※Quiet Boot を対象から削除し、iSCSI 設定サブメニューを対象に追加</p>	設定項目	設定内容	設定値／表示	A	セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示	(設定項目は下欄のとおり)	・	・・・	・・・	F	セットアップデータをデフォルト値に戻す	—
設定項目	設定内容	設定値／表示										
A	セットアップデータの保存と終了の設定項目を表示	(設定項目は下欄のとおり)										
・	・・・	・・・										
F	セットアップデータをデフォルト値に戻す	—										

- ・ 「2 リモートマネジメント機能を使用するための準備」 「2.2 リモート端末の必要条件と設定」 「2.2.2 サポート OS」 (P.9)

誤

◆Windows

IPv4 使用時は次のとおりです。

...

- Windows 7
- Windows 8
- Windows Server 2003 R2 (SP2)

...

IPv6 使用時は次のとおりです。

- Windows 7
- Windows 8
- Windows Server 2012

正

◆Windows

IPv4 使用時は次のとおりです。

...

- Windows 7
- Windows 8
- ~~Windows 8.1~~
- ~~Windows 10~~
- Windows Server 2003 R2 (SP2)

...


IPv6 使用時は次のとおりです。

- Windows 7
- Windows 8
- ~~Windows 8.1~~
- ~~Windows 10~~
- Windows Server 2012
- ~~Windows Server 2012 R2~~


- 「2 リモートマネジメント機能を使用するための準備」 「2.2 リモート端末の必要条件と設定」 「2.2.3 サポート Web ブラウザ」 (P.10)

誤
<p>◆Windows</p> <p>IPv4 使用時は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Microsoft Internet Explorer 8.0 以降 *1 <p>*1: OS 標準が Microsoft Internet Explorer8 以降の場合、OS 標準を推奨します。</p> <p>IPv6 使用時は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Microsoft Internet Explorer 10.0 以降 *2 <p>*2: Microsoft Internet Explorer 11 はサポートしていません。</p>
正
<p>◆Windows</p> <p>IPv4 使用時は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Microsoft Internet Explorer 8.0 以降 *1 <p>*1: OS 標準が Microsoft Internet Explorer8 以降の場合、OS 標準を推奨します。</p> <p>IPv6 使用時は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■Microsoft Internet Explorer 10.0 以降 *2 <p>*2: Microsoft Internet Explorer 11 はサポートしていません。</p> <p>※Microsoft Internet Explorer 11 は追加サポートされました。</p>

- 「2 リモートマネジメント機能を使用するための準備」 「2.2 リモート端末の必要条件と設定」 「2.2.4 サポート Java ソフトウェア」 (P.12)

次の内容を追加
<p>サポートする Java ソフトウェアのバージョンは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ J2SE Runtime Environment : Version 7 (32bit 版) ■ J2SE Runtime Environment : Version 8 (32bit 版)


- 「2 リモートマネジメント機能を使用するための準備」 「2.4 BMC ネットワークの設定」 「2.4.2 Web コンソールからネットワークを設定する」 (P.19)

手順 3 に次の内容を追加
<p>3 [F4] キーを押すと、次のメッセージが表示され、POST 終了後にオフラインツールが起動します。</p> <p>Entering ROM Utility . . .</p> <p>なお、システム BIOS のセットアップメニューで Administrator のパスワードを設定している場合、オフラインツール起動前に「Enter Password」画面が表示され、パスワード入力を求められます。この場合、システム BIOS の Administrator パスワードを入力してください。</p> <p>→『ユーザーズガイド ~ BIOS 編~』</p>

<p>オフラインツール起動時に要求される Administrator のパスワードは、システム BIOS で設定した Administrator のものです。BMC ネットワークの Administrator とは異なります。</p>

- 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」 「A.3 設定タブ」 「A.3.1 BMC」 「(2) ユーザ管理」
 「◆Active Directory プロパティ」 (P.113)

【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
Active Directory 認証	認証 Active Directory 認証の有効/無効を設定します。	【有効】/無効
...
ドメインコントローラサーバアドレス2	2つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
ドメインコントローラサーバアドレス3	3つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します	0.0.0.0

【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
Active Directory 認証	認証 Active Directory 認証の有効/無効を設定します。	有効/【無効】
...
ドメインコントローラサーバアドレス2	2つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します。	(なし)
ドメインコントローラサーバアドレス3	3つ目のドメインコントローラサーバのアドレスを設定します	(なし)

※ (なし) は値が入力できる欄が表示されません。

- 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」 「A.3 設定タブ」 「A.3.1 BMC」 「(2) ユーザ管理」
 「◆LDAP」 (P.119)

【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
バインドパスワード	バインドパスワードを設定します。	(空白)

【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
バインドパスワード	バインドパスワードを設定します。	「●」で表示する

- 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3) 通報」「◆メール通報」(P.125)

誤		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
サーバ *2	smtp.example.com	(空白)
...

正		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
サーバ *2	smtp.example.com	0.0.0.0
...

- 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」「A.3 設定タブ」「A.3.1 BMC」「(3) 通報」「◆SNMP 通報」(P.129)

誤		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
コンピュータ名 *2 *3	SNMP 通報の中に入るホスト名を設定します。	【有効】/無効
...
2次通報先 *2 *4		
通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。 *5	(空白)
2次通報先 *2 *4		
通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。 *5	(空白)
...

正		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
...
コンピュータ名 *2 *3	SNMP 通報の中に入るホスト名を設定します。	(空白)
...
2次通報先 *2 *4		
通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。 *5	(なし)
3次通報先 *2 *4		
通報先 IP アドレス	通報先 IP アドレスを設定します。 *5	(なし)
...

※ (空白) は値が入力できる欄が表示されます。(なし) は値が入力できる欄が表示されません。

- ・ 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」 「A.3 設定タブ」 「A.3.1 BMC」 「(4)システム操作」 (P.131)

誤		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
リモート KVM コンソール設定		
暗号化設定		
暗号化	リモート KVM の通信の暗号化有無を設定します。	有効 / 【無効】
...
リモートメディア設定		
暗号化設定		
暗号化	リモートメディアの通信の暗号化有無を設定します。	有効 / 【無効】
...
正		
【 ___ 】 : 工場出荷時設定値		
設定項目	設定内容	設定値
リモート KVM コンソール設定		
暗号化設定		
暗号化	リモート KVM の通信の暗号化有無を設定します。	【有効】 / 無効
...
リモートメディア設定		
暗号化設定		
暗号化	リモートメディアの通信の暗号化有無を設定します。	【有効】 / 無効
...

- ・ 「付録 A Web コンソール設定メニュー画面」 「A.3 設定タブ」 「A.3.1 BMC」 「(7)拡張設定」 (P.140)

誤			
項目	内容	適用	デフォルト値 *1
...
Shutdown Monitoring	システム装置のシャットダウンの監視機能の有効・無効について設定します。この機能が有効の場合、立ち下げが失敗すると、強制的に立ち下げを行います。 ・ Disable ・ Enable	即時	Disable
	有効時監視時間：1-60 分	即時	10 *4
正			
項目	内容	適用	デフォルト値 *1
...
Shutdown Monitoring	システム装置のシャットダウンの監視機能の有効・無効について設定します。この機能が有効の場合、立ち下げが失敗すると、強制的に立ち下げを行います。 ・ Disable ・ Enable	即時	Enable
	有効時監視時間：1-60 分	即時	10 *4

標準 LAN ボードの MAC アドレス確認方法について

標準 LAN ボードの MAC アドレスをシステム BIOS 上で確認する方法を追加しました。
システム構築の際は次の説明をご一読いただくようお願い申し上げます。

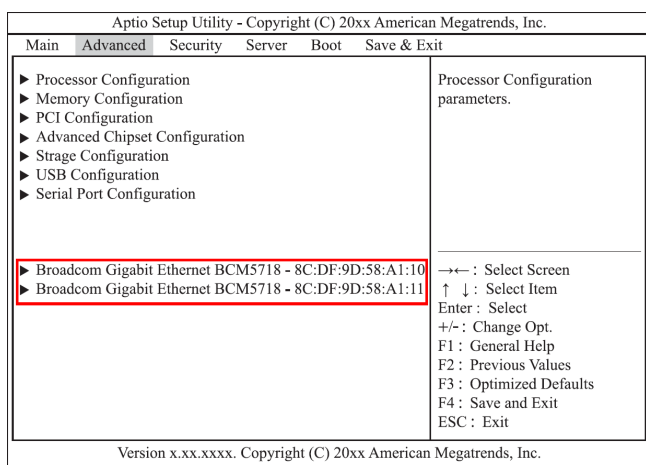
LAN ボード（標準：1G、2ポート）/LAN ボード （標準：1G、4ポート）の MAC アドレス確認方法

次の場合、MAC アドレス確認方法をお試しください。

- OS インストール前に MAC アドレスを確認する場合
- 管理サーバやクライアントにインストールした「JP1/ServerConductor/DeploymentManager」に、RS440 xM モデルの MAC アドレスを手動で登録する場合
(通常、MAC アドレスは「JP1/ServerConductor/DeploymentManager」から自動で認識されます)

標準 LAN ボードの MAC アドレス確認は、次のように操作します。

- 1 セットアップメニューを起動し、メインメニューを表示します。
- 2 「Advanced」の位置にカーソルを移動し、Advanced メニューを表示します。
- 3 「PCI Configuration」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4 「PCI Device Controller and Option ROM Settings」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 5 「EFI OPROMs」で、「Enabled」を選択します。
- 6 「PCI5 Slot Option ROM」で、「Enabled」を選択します。
- 7 [Esc] キーを押し、Advanced メニューに戻ります。
- 8 「Save & Exit」の位置にカーソルを移動し、Save & Exit メニューを表示します。
- 9 「Save Changes and Exit」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 10 自動的に再起動しますので、再度メインメニューから Advanced メニューを表示させます。
- 11 Advanced メニューの下部に複数の「Broadcom Gigabit Ethernet BCM5718 - xx:xx:xx:xx:xx:xx」や「Broadcom Gigabit Ethernet BCM5719 - xx:xx:xx:xx:xx:xx」が表示されます。

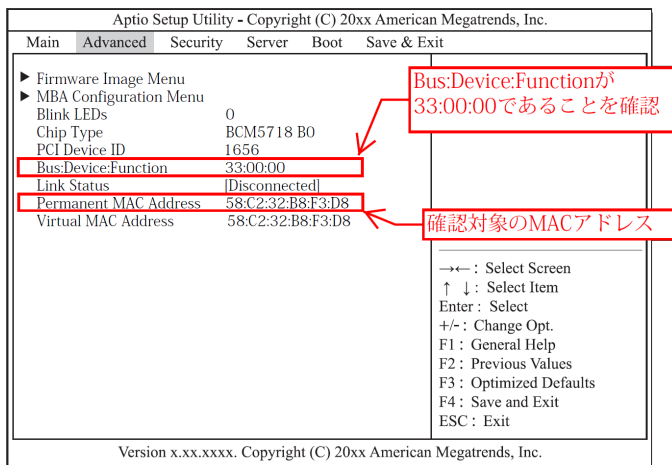


(次ページにつづく)

(前ページより)

- 補足
- LAN ボード (標準: 1G、2 ポート) やオプション LAN ボード (CN7724) が搭載されている場合、「Broadcom Gigabit Ethernet BCM5718 - xx:xx:xx:xx:xx:xx」が表示されます。
 - LAN ボード (標準: 1G、4 ポート) やオプション LAN ボード (CN7744) が搭載されている場合、「Broadcom Gigabit Ethernet BCM5719 - xx:xx:xx:xx:xx:xx」が表示されます。

- 12 上から順番に「Broadcom Gigabit Ethernet BCM571x - xx:xx:xx:xx:xx:xx」を選択し、[Enter] キーを押して次のメニューを表示させます。
「Bus:Device:Function 33:00:00」が表示されているメニューにある MAC アドレスが、確認対象である標準 LAN ボードの MAC アドレスです。



- 補足
- 次のネットワークインタフェースコネクタが MAC アドレスを確認する対象となります。
- ・ LAN ボード (標準: 2 ポート) はネットワークインタフェースコネクタ 1
 - ・ LAN ボード (標準: 4 ポート) はネットワークインタフェースコネクタ A

- 13 確認が終わったら設定を元に戻します。本手順の 3 ~ 6 で PCI スロット「EFI OPROMs」と「PCI5 Slot Option ROM」を、「Disabled」設定してください。

- 補足
- PXE ブートを行う場合は「EFI OPROMs」と「PCI5 Slot Option ROM」設定を有効のままにして、PXE ブート設定に進んでください。

- 14 [Esc] キーを押し、Advanced メニューに戻ります。
- 15 「Save & Exit」の位置にカーソルを移動し、Save & Exit メニューを表示します。
- 16 「Save Changes and Exit」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 17 自動的に再起動します。

- ! 制限
- 「EFI OPROMs」と「PCIxx Slot Option ROM」を変更したあと、必ず保存して再起動してください。
再起動しない場合、「EFI OPROMs」と「PCIxx Slot Option ROM」の設定値が反映されません。